

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成22年2月25日 (2010.2.25)

【公開番号】特開2008-183274(P2008-183274A)  
 【公開日】平成20年8月14日 (2008.8.14)  
 【年通号数】公開・登録公報2008-032  
 【出願番号】特願2007-20481(P2007-20481)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 4 G

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

A 6 3 F 5/04 5 1 6 D

【手続補正書】  
 【提出日】平成22年1月6日 (2010.1.6)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

複数種類の図柄を施した図柄帯が付された可動表示体と、前記可動表示体を複数備えた図柄変動表示装置を有し、前記複数の可動表示体を回転させて前記図柄変動表示装置の変動を開始させる始動操作部と、前記複数の可動表示体の回転を順次停止させる操作可能な複数の停止操作部と

を併設して備え、遊技価値の投入と遊技者の始動操作により複数の前記可動表示体の変動を開始させ、全ての前記可動表示体の停止操作が受け付けられると、前記図柄変動表示装置に 1 回のゲームの結果を表示する遊技機において、

1 回のゲームごとに予め決められた複数の当選役及びハズレ役の中からいずれかを選び出す抽選を行う内部抽選手段と、

前記内部抽選手段による内部抽選の結果に基づいて複数の前記可動表示体の停止を制御する可動表示体停止制御手段と、

複数の前記可動表示体の回転が停止状態となると、前記可動表示体に付された図柄帯上の図柄を所定個数分の図柄群として前記図柄変動表示装置内の所定箇所に表示可能とする図柄表示部と、

前記図柄表示部内に表示された所定個数分の図柄群を複数の前記可動表示体にまたがって見た場合に、各々の前記可動表示体について少なくとも 1 つの図柄を選び出してできる組み合わせ態様のうち、前記当選役に対応する図柄の組み合わせ態様が表示されたときにその組み合わせ態様を有効とする表示位置を決定する有効表示位置決定手段と、

全ての前記可動表示体が停止した場合、前記有効表示位置決定手段により決定された前記有効表示位置に前記当選役に対応する図柄の組み合わせ態様が表示されたか否かを判定する当選役図柄表示判定手段と、

前記内部抽選の結果として選出される当選役のうち、同じ遊技特典に対応する当選役として第 1 当選役および第 2 当選役を少なくとも有し、

前記図柄表示部内に前記第 1 当選役に対応する図柄の組み合わせ態様が表示されたことが前記当選役図柄表示判定手段により判定されると、前記第 1 当選役及び前記第 2 当選役に共通する前記遊技特典に加えてさらに追加の遊技特典を付与する追加遊技特典付与手段

と、

前記複数の停止操作部にて受け付けられる所定の停止操作の順番を予め記憶しておく停止順記憶手段と、

前記内部抽選の結果として第1当選役が選出された場合、前記停止順記憶手段により予め記憶された停止操作の順番に合致した場合のみ当該ゲームにて最終的に第1当選役に対応する図柄の組み合わせ態様が表示されることを許容する選択決定手段と、

前記選択決定手段により前記第1当選役に対応する図柄の組み合わせ態様を表示されないことが決定された場合、最終的に前記第2当選役に対応する図柄の組み合わせ態様を表示させる前記可動表示体の停止を制御する対応図柄変更停止制御手段と

を具備したことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記対応図柄変更停止制御手段は、前記第1当選役に対応する図柄の組み合わせ態様が表示可能な前記可動表示体の停止操作が受け付けられた場合であっても、第1当選役に対応する図柄を回避する非選択図柄回避手段をさらに備え、前記非選択図柄回避手段により前記第1当選役に対応する図柄が回避されると、当該可動表示体に必ず前記第2当選役に対応する図柄を表示させる

ことを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記対応図柄変更停止制御手段は、前記第1当選役に対応する図柄の組み合わせ態様が表示不可能な前記可動表示体の停止操作が受け付けられた場合、当該可動表示体に必ず前記第2当選役に対応する図柄を表示させる

ことを特徴とする請求項1または請求項2に記載の遊技機。